

## 令和6年度 第1回 第二明星学園地域連携推進会議 議事録

1 日 時 令和7年2月12日（水） 午後1時30分から

2 場 所 飯田市駄科2250 「明星学園 会議室」

3 構成員の出席状況

- ・地域の関係者 2名
- ・利用者 1名
- ・利用者家族 1名
- ・福祉知見者 1名
- ・市町村担当者 1名

以上6名全員出席

・事務局

明星学園職員4名出席

4 <開会>

事務局より開会のあいさつをし、会議を進行をした。

5 <会議内容>

### ①施設見学の感想等

事務局の進行により、地域連携推進会議の直前に行なった施設見学の感想を含め、意見や疑問点などを構成員一人ひとりにお聞きし、意見等を述べて頂いた。

#### ◆福祉知見者

- ・普段から仕事で関わることもあるのですが、一人一人に寄り添った支援をしていると普段から感じています。一人一人に個性があるわけですが、その人らしさを引き出している。お部屋も個々にその人らしい部屋になっていて良いと思う。

#### ◆地域の関係者

- ・初めて見学させて頂いたが、明るい雰囲気で大変びっくりした。もう少し違う感じを想像していた。

Q. 給食も個々の好き嫌い、苦手に合わせて個々の食事を提供されていて大変ではないですか？

A. 仰る通り大変です。しかし、ここで出される食事は、私たちが家庭で食べる食事と同じと捉えており、家庭では、私たちが嫌いなもの苦手

なものを積極的に食べないですね。

給食と言ってしまえばそれまでですが、毎日3食、給食だから出された物を食べてください、という支援方法では、利用者さんたちが幸せではないと考えています。

◆市町村担当者

- ・生き生きとされている様子が伺えました。

◆家族

- ・利用者の家族として30年くらいお世話になっていて、明星学園については良く知っていて、利用者一人一人の幸せを考えて支援して頂いていることも十分承知しており、感謝しています。

しかし、最近、学園の行事が少なくなっていて、家族同士の交流があまりできていないので、その辺をもう少し考えて頂きたい。

- A. ごもつともだと思えます。こちらとしても、コロナやインフルなどの感染症対策のため少し消極的になっているのは事実です。そのご意見について検討したいと思えます。

②事業所から福祉関係の説明

- イ) 障害者の全体的状況について ～厚労省資料の抜粋～
- ロ) 明星学園の支援方針の説明

※その他 第三者評価の結果、パンフレット、広報誌などの資料を開催通知と共に事前に郵送した。

③質疑・応答

事務局より、先ほどの施設職員からの福祉関係の説明やそのこと以外のことでも、どんなことでもよいので質問や意見を述べてほしい旨をお伝えし、質問・意見等を述べて頂いた。

◆家族

- ・利用者さんたちの中でも、手の掛かる人、そうでない人様々だと思えますが、そういった偏りは無くしてもらいたいと思えます。利用者さんからすれば私のことは見てくれないんだという気持ちになってしまうと思うんですね。それは困るのでしっかりやって欲しいなと思えます。

- A. 実際、そういうことが無いとは言い切れません。

一日の中で限られた時間の中で限られた職員数の中で、その日その日で重点的に支援しなければならない利用者さんが変わっていきま

す。それは、他害や自傷、物損などを防がなければならないという事でやっています。

比較的自立度の高い利用者さんへの支援が薄くなってしまう場合が多いのですが、重点的に支援をしなければならない利用者さんの支援を薄くしてしまうと、その日何事もなく平和に暮らしている利用者さんにも影響が及ぶ可能性が高くなってしまいます。

ですので、日々の中ではどうしても偏りができてしまうのは事実です。

それでも、必ず、一人ひとりの利用者さんに対して1日1回~3回くらいは1対1でお話をする時間を設けています。それで我慢してくださいという形になってしまうことが多いです。

できるだけ偏りがなくなる工夫をさらにしていきたいと思います。

#### ◆市町村担当者

- ・昔と違って、障害があっても自分の意志で行動できる時代になっていて、明星学園さんはその支援が良くできていると思います。引き続きお願いします。

#### ◆地域の関係者1

- ・私が若いころに、他の法人の施設を見学したことがある。  
今日こちらの施設を見せて頂いて全然違うと感じた。  
こちらの施設の利用者の方が生き生きとしていて楽しそうでした。

#### ◆地域の関係者2

- ・私は今までこういった施設に馴染みがなく、初めて見せて頂いて大変勉強になった。  
昔は障害がある人達に差別的な感じがあった。とあるショッピングセンターで小さい子供連れのお母さんが買い物をしていた。小さい子供が駄々をこねていた。そこへちょうど車椅子に乗った若い女性が横を通っていった。  
するとその母親が、いつまでも泣いてると『ああいう風になっちゃうよ』と子供に言っているのを見てショックを受けた覚えがある。  
ここの明星学園で行なっている支援は、細かくて大変だと思いますが、是非、こういった今日のような場を年に1回でもいいので、幅広く地域の人たちにアピールする場を設けて頂きたい。そうすれば、障害に対する理解も進むと思います。

- A. おしゃる通り、私共の施設の弱い所は、地元の住民の方々が気軽に訪れて頂ける場となっていないところです。せめて、近隣の方々に聞けば、明星学園はああいう所だよと言って頂けるように、交流の場を作

り、知って頂く努力をしなければならいと思います。

◆福祉知見者

・今日見学させて頂いて、居室に関してきれいなお部屋もあれば、少し汚いといいますか、私ならここで寝たくないなと思えるようなお部屋がいくつかありました。

施設に長く勤めている職員には、あるあるの話ですが、施設の匂いであったり、その環境に慣れてしまうのですが、折角良い支援をされているので、その辺が少しもったいないといいますか、もう少し気にかけて改善して頂けたらなと思います。

A. ご指摘を受けたことで、施設の匂いというものを再認識しました。

対策として、オゾン発生器、空気清浄機、コロナを機に定時の換気などを行っており、ハウスキーパー（お掃除の方）を雇って拭き掃除なども行なっていますが、不十分であることがわかりました。

居室の掃除については、利用者さんの中には、居室に入ってもらいたくない、物を触って欲しくない方がおり、なかなか掃除が難しい場合があります。

折角ご指摘を頂いたので、検討させていただきたいと思います

◆利用者

Q. 明星学園で嫌な事ありますか。何でもいいので仰ってください。

A. ドライブやカラオケとかやってくれて楽しいです。

明星学園の広報誌に私が（活躍している場面）載っているのを見て欲しい。

6 <閉会>

事務局より、その他の質問・意見等を求めたが、特に意見等は出なかった  
ので15:10に閉会した。